

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	高瀬英和
	全体計画						経費区分		-		内線	3115
事務事業名	4038 職員厚生事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020108 総務費・総務管理費・職員厚生費										
	事業	010000 職員厚生事業										
事業目的						事業概要・効果						
職員の健康管理と福利厚生の充実を図る。						職員の健康診断・各種検診・人間ドックの委託等を行い、疾病の早期発見と予防に努めるとともに、ストレスチェックの実施及び外部産業カウンセラー、保健師などの専門スタッフの健康相談などを行うことにより、職員の健康増進を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入	①予防接種(破傷風・B型肝炎) ②職員の健康診断(定期健診・各種検診・人間ドック) ③職員の健康相談 ④職員の心の健康管理 ⑤職員の作業着等の購入 ⑥ストレスチェックの実施
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	ストレスチェック受検率				
算式	対象者：受験者者				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	80			
	実績				
指標選定の理由	受検率の向上により職員のストレス状況の早期発見につながるとともに、職場環境分析の精度があがるため				
最終年度目標の根拠	受検率を100%とし、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		10,787	13,982
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	287	637
一般財源		10,500	13,345
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	1.3	1.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,766.4	6,487.2
	嘱託職員	3,516.5	3,246.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,282.9	9,733.2
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		20,069.9	23,715.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	605	産業医謝礼、健康相談等謝礼
11節 需用費	552	作業着等購入
13節 委託費	9,491	健康診断、各種検診、人間ドッグ委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	139	特定健診事業主負担
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	703	健康相談等謝礼
11節 需用費	1,160	作業着等購入
13節 委託費	11,712	ストレスチェック支援、健康診断、各種検診、人間ドック委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	169	特定健診事業主負担
その他	238	旅費 18 手数料 40 機器賃借料 30 医薬材料費150

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	職員の健康管理と福利厚生の実現を図ることにより、強い組織づくりにつなげる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	要精検者の受診率を向上させる必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	夜勤者健診を委託から直営に変更し、コスト削減に努めた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
要精検者の受診率の向上

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>人間ドックによる精密検査となった職員の経過状況の更なるフォローアップと、ストレスチェックによる高ストレス者のストレス不調の未然防止を推進する必要がある。</p>		<p>健康診断未受診者のチェックと、要精検者のフォローアップをさらに行う。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	